

しかし、8月の改悪によって1人は、1万4600円、2人は1万7千500円、3人は1万7千570円、4人は1万9千770円と4人の場合には2万4千190円もの減額です。

冬季加算でも、2千390円が、2千350円に引き下げられ1缶弱しか買えません。

寒さを我慢してふるえながら食事をする事が「くらし輝く町」に住む人の生活でしょうか。

町長

生活保護費が引き下げられ、保護世帯については大変厳しい生活をされていることは、私としても分らない訳ではない。しかし、生活保護制度は国の制度であるので、それに対して町が補填するための助成をする事は考えられない。是非、理解をいただきたい。

久保田町議

生活保護1条では「憲法25条に規定する理念に基づき最低限度の生活を保障する。そしてその自立を助成する事を目的とする」とされています。最低限度の生活とは「健康で文化的水準を維持する事ができるものでなくてはならない」とあり

ます。また、要保護、準要保護の児童生徒数は、他市町に比べても厳しい状況になっています。2007年の閣議決定では、地域を限定しない灯油代補助を含む各種の原油高騰対策が示されました。行政は、町民のくらし、健康を守る責任があります。

子どもたちの幸福度が発表され、先進国31カ国のうち26番目、日本の子どもたちの生活は非常に貧困が深刻化していると言います。子どもたちが勉強する時、普通の子どもたちと同じ環境、公平な環境で勉強することが大事だと思います。そして、納税できる大人に育てる、それも町の役目だと思います。

町長

国の制度がそうなっているわけなので一自治体が補填することは、川棚町の財政力から考えても非常に困難な問題である。

久保田町議

国の制度のセーフティネットからこぼれる住民を救うのが地方自治。国の制度で苦しんでいる人たちを救うのが町長の役目なのでありませんか。

町長

国のセーフティネットで漏れたものを自治体でカバーしなければ

ばならないんだと。そういった気持ちも分からない訳ではない。いろいろ、提言されていることに対して町が果ただちに補助制度を設けて支援する体制にできないと判断している。

ゴミ出しの支援を

久保田町議

ゴミ出し支援について尋ねます。

介護の必要な高齢者や、一人暮らしの障害者の方々など、ごみを集積所まで運ぶのが困難な方を対象に、県下の自治体では申請により町が認めれば軒先までゴミを回収してくれるサービスがあります。本町でも取り組む考えはないか尋ねます。

町長

介護を要する方々については、介護サービスのメニューの中に、生活の援助をするサービスがあります。

ホームヘルパーの手を借りずに室内では身の回りのことはできるが、集積所まで持っていけない方に対する支援は、これまで、高齢者などから問い合わせがあつておらず、早急に取り組まなければならない課題

とは考えていないが、今後ますます高齢化社会が進むことを考えると、行政として方向性を検討する時期に来ていると判断するので、すでに実施自治体の状況などを調査し、また福祉組合、東彼三町において協議を試みたい。

町民の要望が実現

●後期高齢者医療保険加入の75歳以上の方の、肺炎球菌予防接種の補助分(3000円)が計上されました。

なお、今年10月から定期接種化される成人用肺炎球菌は原則65歳以上が対象となり、接種費用の3割を地方交付税で賄います。

また、水痘は、1歳から2歳までに一定期間をおいて2回接種し、接種費用の9割を地方交付税で賄います。



●城山公園の側溝蓋設置工事(部分施工)が予算計上されました。これで子どもたちが安心して走りまわれます。

平成26年度予算案に反対

平成26年度の予算は大変な中身のオンパレードです。

社会保障・税番号導入のためのシステム改修補助金は、「マインバー」法が昨年5月に成立したことによって予算に盛り込まれたもの。

税と社会保障の個人情報を一括管理し、徴税強化、給付抑制を狙うともに権力による国民監視やプライバシーの漏洩などが危惧されます。

子育て臨時特例交付金は、子育て世帯への消費税緩和の観点から支給されたものですが、1月2日以降に生まれた子供は対象外です。一回限りの措置で負担は解消されません。

小中学校の給食費が1食15円値上げされます。多子世帯にとっては負担が大きくなります。

また、ダム対策費、給食センターの調理業務の民営化に向けた予算など町民に痛みを強いる中身になっており、平成26年度一般会計予算案に反対しました。

国民健康保険、介護保険、後期高齢者保健についても保険料、利用料の値上げに対して反対しました。